

東京慈恵会医科大学附属柏病院

住所：〒277-8567 千葉県柏市柏下 163 番地 1

TEL：04-7164-1111

HP：<http://www.jikei.ac.jp/hospital/kashiwa>

リハビリテーション科常勤医師(2020 年 6 月現在)

診療医長：又吉 由紀子(熊本大 H11 卒)

診療医員：長谷川 雄紀(慈恵医大 H27 卒)

理学療法士 10 名，作業療法士 4 名，言語聴覚士 2 名

総病床数：650，診療科：29

*2019 年度リハビリテーション施行件数：約 48,000 件



責任者からのコメント

慈恵医大附属柏病院は三次救急を担う高度急性期病院であり，集中治療室には重症疾患を有す患者さんが多く入院します。当院のリハビリテーション科では，多数の各診療科と連携し，脳血管障害をはじめとして多岐に渡る疾患に対して，患者さんの生命予後，機能予後改善を目指して早期からの積極的なリハビリテーション治療を実践しております。早期リハビリテーション治療を安全に行えるようにさまざまな疾患に対して迅速かつ正確に病態を把握する必要があります。そのためにはリハビリテーション治療を行うことによって生じる体内動態について理解している必要があります。当院ではそういった急性期病院ならではのリハビリテーション診療を学べるのが主な特色です。

研修病院としての特徴

1. 急性期リハビリテーション診断・治療の実践

脳卒中や外傷（頭部外傷・骨折など），各種疾患に対して早期に自宅退院できるように急性期リハビリテーションを施行しています。特に ICU での積極的なリハビリテーション診断・治療に重点を置いて取り組んでいます。

2. 周術期リハビリテーション治療の充実化

人工股・膝関節置換術などでは，術前より評価・訓練し，術後早期からリハビリテーション治療を開始，早期退院を目指しています。開胸手術などでは，あらかじめ呼吸機能を上げるべく，術前に呼吸リハビリテーション治療を指導および施行し，安全な麻酔および手術の実施および，術後の早期離床へ向け援助しています。

3. 先進的な臨床研究

慈恵医大附属 4 病院の共通評価（人工股・膝関節置換術・脳血管障害）による結果を利用した研究や体成分分析装置を使用した ICU-acquired weakness の評価研究急性期脳卒中患者における脳血流動態の解析研究なども行っています。また，脳卒中後上肢痙縮・下肢痙縮に対するボツリヌス毒素治療に関する臨床研究など幅広く行っております。

最後に

柏病院ではリハビリテーション科医師主導のもと，療法士，看護師，薬剤師，臨床工学士とともに多職種と連携しながら早期リハビリテーション治療を行っております。

急性期リハビリテーション治療に興味がある方，一緒にがんばりましょう。